

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2018-164480(P2018-164480A)
 【公開日】平成30年10月25日(2018.10.25)
 【年通号数】公開・登録公報2018-041
 【出願番号】特願2017-62150(P2017-62150)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月13日(2019.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記特許文献1に記載された遊技機では、遊技の興趣を十分に高めることができない。
 本発明の目的は遊技の興趣を向上することである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

始動入賞口への入賞に基づき識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行し、当該変動表示ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生する遊技機において、

前記始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記変動表示ゲームを実行可能な変動表示ゲーム実行制御手段と、

遊技に関する演出を表示可能な表示装置と、

遊技の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記変動表示ゲームを変動パターンテーブルから選択した変動パターンに基づき前記表示装置に表示し、

所定条件の成立に基づく特定演出状態である前記変動表示ゲームの変動パターンの選択に用いる変動パターンテーブルは、当該特定演出状態でない前記変動表示ゲームの変動パターンの選択に用いる変動パターンテーブルよりも、リーチ演出を実施しない変動パターンの選択率が高いことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0657

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0657】

図99、図100には、特図変動表示ゲームの変動パターンを示した。図99には通常遊技状態（低確率状態）における変動パターンの種類と選択率が規定される変動パターンテーブルの内容を示した。なお、特図1変動表示ゲームと特図2変動表示ゲームで共通の変動パターンテーブルを用いる。図99(a)～(c)は、第1実施形態の図8(a)～(c)と同様である。本変形例の遊技機は、図99(d)の大当り変動パターンテーブル2及び図99(e)の小当り変動パターンテーブル2を備えている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0659

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0659】

図100には特定遊技状態（高確率状態）における変動パターンの種類と選択率が規定される変動パターンテーブルの内容を示した。なお、特図1変動表示ゲームと特図2変動表示ゲームで共通の変動パターンテーブルを用いる。図100(a)～(c)は、第1実施形態の図9(a)～(c)と同様である。本変形例の遊技機は、図100(d)の大当り変動パターンテーブル2及び図100(e)の小当り変動パターンテーブル2を備えている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動入賞口への入賞に基づき識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行し、当該変動表示ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生する遊技機において、

前記始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記変動表示ゲームを実行可能な変動表示ゲーム実行制御手段と、

遊技に関する演出を表示可能な表示装置と、

遊技の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記変動表示ゲームを変動パターンテーブルから選択した変動パターンに基づき前記表示装置に表示し、

所定条件の成立に基づく特定演出状態である前記変動表示ゲームの変動パターンの選択に用いる変動パターンテーブルは、当該特定演出状態でない前記変動表示ゲームの変動パターンの選択に用いる変動パターンテーブルよりも、リーチ演出を実施しない変動パターンの選択率が高いことを特徴とする遊技機。